

本学では、2021 年 11 月 8 日(月)～21 日(日)まで「大学院ウィーク」を開催し、大学院進学に興味がある方、就職と迷っている方など多数の方にご参加いただきました。

その中の企画をいくつかご紹介します。



衣笠リサーチオフィス 企画 11 月 25 日(木)

ライスボールセミナー 立命館大学大学院キャリアパス推進室主催
「2021 年度リサーチプロポーザルコンテスト受賞者による研究発表」



ライスボールセミナーは昼食の時間に軽食をとりながら、若手研究者の研究発表を聞くことができるセミナー。今回は、「2021 年度リサーチプロポーザルコンテスト*受賞者による研究発表」として、大賞受賞者 2 名による研究発表がオンラインで行われました。

*研究のアイデアを形に、いかに研究計画書を魅力的に書けるかを競うコンテスト

文系受賞者・戸塚さん(文学研究科)の研究テーマは「天明歌舞伎と勝川派の役者絵」。いまだ十分に解明されていない天明歌舞伎について、役者絵という絵画を手掛かりに実態検証を行う初の研究です。デジタル技術を活用し勝川派役者絵のデータベースを構築することで役者絵と歌舞伎興行の関係を分析し、天明歌舞伎の実態に迫ります。データベースが構築されれば歌舞伎史研究のみならず浮世絵史・近世文学などの研究でも活用できるとのことでした。

理系受賞者・吉田さん(生命科学研究科)は「円偏光発光材料の創製とその発光特性の制御」が研究テーマ。円偏光発光する材料を三次元ディスプレイ用光源として社会実装することを目指しています。液晶の構造を光によって制御し、光によって光を制御することで、低コスト化をはかります。これが実現すると、眼鏡がなくても立体映像を快適に見ることが可能になり、医療、ロボットアームの遠隔操作などの場面で活用が期待できるといいます。

2 名とも研究に着手した背景(課題)や目的が明確。現状と今後の計画も示され、専門外の人にもとてもわかりやすい説明で研究への熱意が伝わってきました。実際の研究の進め方などの説明もあり、学部生にとっても大いに参考になる内容でした。



法学研究科 企画 12 月 1 日(水)
定期試験対策講座

法学研究科博士課程後期課程 1 回生のお二人を招いて、学部生向けに定期試験対策講座が開催されました。

論述問題への回答方法を中心に、実際の定期試験でどのような点に注意して答案を作成すればよいのか、またどのような対策をすればよいのか紹介がありました。

参加者からは、判例や学説はどの程度おさえておけばよいのか、レジュメがない授業の場合にどのような準備をすればよいのか、など具体的な質問がありました。院生からは、自身の体験にもとづいてどのように対応すればよいのか、自分で問った授業のメモの使い方、どのような参考図書を活用すればよいのかなど、丁寧なアドバイスがありました。

そのほか、大学院進学についても紹介があり、早期卒業制度などの活用も含めてお話いただきました。

先端総合学術研究科 企画 11月16日(火)

トークイベント「研究をデザインする-三人の方法-」

先端総合学術
研究科 HP

[illegible]

先端総合学術研究科の小川さやか先生、千葉雅也先生、先端研修生で大阪大学文学研究科准教授の小西真理子先生によるオンライントークイベントが開催されました。

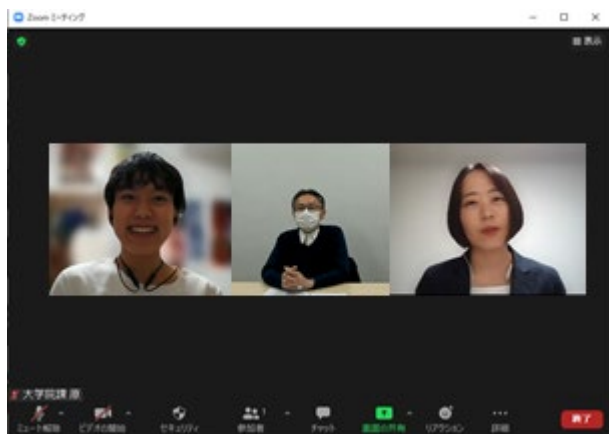
動物が本能に従って必要最低限の行為しかしないのに対し、人間は必要以上の無駄なこと、過剰なことを日々行うことでエネルギーを発散しており、このような「過剰さ」こそがあらゆる文化を生み出した源であると考えられる。しかし、今日では「正しさ」や「無駄のなさ」を追求するあまり様々なことに規範化が進み、「過剰さ」が規制される傾向にある。そこで、改めて「本来的に過剰さを持っている存在」として人間を捉えなおす必要があるとの趣旨でトークが展開されました。

小西先生からは、先端研在籍時のエピソードを交えて現在の研究内容をお話しいただき、分野や領域にとらわれずに研究を進められる先端研の特色にも話題が及びました。哲学的なお話にも多くの参加者が引き込まれ、質疑応答も活発に行われていました。



法学研究科 企画 12月8日(水)

高い専門性を活かして社会で活躍する修了生を招いてのオンライン座談会



民間企業の法務部門に勤務されている修了生を招いて、法学研究科での研究や学びが、実際の企業の法務の現場でどのように生きているか、大学院進学を決めたきっかけなどについて、お話を聞くことができました。企業の法務人財に求められている点について、弁護士との役割の違いや、企業の一員であるからできることなどを紹介いただきました。また参加者(法学部生)からは、就職活動で工夫したこと、学部時代にやっておけばよかったと思うことなどについて質問があり、修了生からは自身の体験にもとづいた丁寧なアドバイスがありました。

弁護士などの法曹人ではないが、法学を学んだ専門性を生かして働くことについて、たいへんリアリティのあるお話でした。学部学生も、興味深く聞けたのではないかと思います。



社会学研究科 企画 11月11日(水)

社会学研究科 HP

公開セミナー「社会学研究科での研究の魅力」

【テーマ】「女性の働き方を考える：日本的雇用と女性の労働力参加」

専任教員や修了生が自らの研究をふまえて、社会学研究科での研究がどのように「面白い」のか解説する公開セミナー。大学院ウィーク中にオンラインで4回開催されました。この日は「女性の働き方を考える：日本的雇用と女性の労働力参加」をテーマに、実は意外なほど進んでいない女性の職場進出の問題について、筒井淳也教授がお話しされました。

日本では、「男女雇用機会均等法」の施行で女性の社会進出が進んだように見えるが、実際は未婚化が進んだことやフルタイムで働ける女性が少ないことでそれほど社会進出が進んでおらず、フルタイムで女性が働く共働き世帯は2015年まで減り続けていたとのこと。意外な実態に少し驚きました。

身近な社会の問題を多様な切り口でとらえて解き明かしていく、社会学研究科の研究の面白さが存分に伝わる講演で、参加者の満足度も高いものとなりました。



立命館生協 大学院ウィーク×食堂コラボメニュー

11月8日(月)～12日(金)



今年も「大学院」に関係するメニューを各キャンパスの食堂で展開しました。メニューを考案したのは CPS(大学院キャリアパススタッフ)。春学期から検討を重ねて3つのメニューに決定しました。

- オール院カレー
- 栄養マスターサラダ
- 大学院タルト



大学院進学説明会

11月8日(月)、11月13日(土)、11月23日(火・祝)、12月10日(金)

11/8,11/13,11/23,12/10 に、オンライン配信による大学院進学説明会を開催しました。日本全国・海外の大学より、低回生の方から社会人、留学生、保護者の方まで約 650 名の方にご参加いただきました。

説明会では、研究指導体制、カリキュラム、入試等について研究科の教職員から説明を行ったほか、現役大学院生からお話が聞ける研究科や、参加者一人一人と対話を行った研究科もありました。また、あらかじめ参加者の方から質問を募り、当日可能な限りその質問にお答えすることや当日直接質疑応答を受けつけるなど、皆さんの疑問になるべくお答えできるよう努めました。

参加者からは「大学院の雰囲気や概要を知ることができた」「コロナ禍で説明会の開催自体が少ない中、貴重な機会だった」「大学院進学へのモチベーション向上につながった」などのお声をいただきました。

2021年度秋季 立命館大学

オンライン配信

大学院進学説明会

事前申込制
参加費不要!

教職員・現役院生がリアルな立命館大学大学院について語ります。
「大学院進学の魅力とは？」
「大学院の入試や奨学金って？」
「どんな研究ができる？」
「就職は大丈夫？」などなど、あなたの疑問に答えます！
お気軽にご参加ください。

自宅から参加可 スマホで視聴可 質疑応答有

11/8 Mon 18:00 start [申込受付] 10/18 ~ 11/5 [15:00]	11/13 Sat 14:00 start [申込受付] 10/18 ~ 11/12 [15:00]	11/23 Tue 18:00 start [申込受付] 10/18 ~ 11/22 [15:00]	12/10 Fri 18:00 start [申込受付] 10/18 ~ 12/9 [15:00]
---	---	---	--

大学院ウィークにご参加いただき、ありがとうございました。

今後も立命館大学大学院の魅力や入試制度を知っていただく企画や HP の充実に努めてまいりますので、ぜひご参加・ご覧ください。

皆様と大学院でお会いできることを楽しみにしております。